

自然環境部の報告

大盛況！今年のホタルまつり

土京川のホタルまつりは、6月26日に開幕し7月10日までの期間で行われ昨年を上回る大盛況でした。自然活用部会とほたるサポーターズクラブが協力して、準備・運営を行いました。

のぼりを見て仕事帰りに立ち寄る方、ラジオを聞いてなど、大勢の皆さんが楽しみました。土京川のホタルは、ヘイケとゲンジが混在していることから珍しい場所とされ、見物客からは「昔を思い出す」などの喜びの声が数多く聞かれました。

7月6日には、鷲澤市長も夫妻で訪れ、見事な乱舞に大満足の様子でした。



オカリナ演奏でホタルまつり開幕

苦戦しながらのカゴづくり



お父さんと一緒に作りました

7月10日(日)、上野公民館で行われたホタルのカゴづくりに28名が参加。暑い中でしたが夢中でカゴづくりに挑戦しました。

大麦のワラを使って指先を細やかに動かし、ワラを束ねて作りました。折り曲げ方や重ね方で様々な大きさや形になり、子ども達は自分で作ったカゴを自慢げに喜んでいました。

根気のいる作業であるため、集中力が途切れるとカゴにならず、音を上げる大人がいるほどでした。

この日の夜は、土京川へホタル採取に行きました。

三登山産廃現地視察やアレチウリ駆除のスタート

三登山産廃現地視察は7月4日(月)、環境部会役員、地元区役員など8名が参加し、作業状況の説明を聞きました。また、市廃棄物対策課からは啓発内容や作業工程などの説明を聞きました。

外来植物(アレチウリ)駆除は7月10日(日)と8月21日(日)、駒沢川(若団)、浅川(檀田)の2カ所で行われ、55名が参加しました。アレチウリはツルが伸びて他の草木を枯らしてしまうため、全国的な運動が行われています。



アレチウリの駆除作業

福祉健康部の報告

会場内が元気いっぱい



中川さんの歌声が場内を包む

若槻地区「社会を明るくする運動住民集会」は7月16日(土)に開催し、250名が参加しました。犯罪を未然に防ぎ明るい社会を築くのがスローガン。

当日は、小学生の作文発表、大通り交番の防犯講話のほか、中川真由美さんの講演、長野県警察音楽隊の軽快な演奏がアトラクションで披露されました。

中川さんは「音楽でつづる」と題して、トークを交えたピアノ演奏で会場を和ませ、長野県警察音楽隊・カラーガード隊による演奏が会場を盛り上げ、アンコールが飛び交うほど元気いっぱいとなりました。

リズムに合わせて脳の活性化

8月23日(火)脳の活性化によいとされている音楽療法講座が開催され、25名の参加がありました。2年前から始まった人気の講座で、長野音楽療法研修会の室川裕子先生の指導によりタイコやタンバリンでリズムをとりながら歌いました。体全体を使うことでリフレッシュして皆さんが笑顔になりました。

